

取扱説明書

ストリート走行ステアリングダンパー
メインブラケット単品

商品ID

5616



□特長

- ・モンキー、ゴリラは車重が軽い上、エンジンから発生する振動の影響を受けやすい為、ステアリングダンパーを取り付けすることでハンドルのフラつきを抑え走行安定性を高め、ライダーの疲労を軽減します。
- ・メインフレーム取り付けブラケットの単品販売です。

□適合フレーム

モンキー/ゴリラ(12V) Z50J-2000001~AB、27-1000001~
 モンキー/ゴリラ3.1PS(6V) Z50J-1600008~1805927
 モンキー/ゴリラ2.6PS(6V) Z50J-1300017~1510400
 モンキー Z50J 1000001-1195595
 *モンキーインジェクション車も取り付け可











□セット内容

アルミ製フレームパイプアウターブラケット・・・1ヶ
 六角ナットM8・・・1ヶ
 平ワッシャーM5・・・1ヶ
 平ワッシャーM8・・・1ヶ
 スプリングワッシャーM8・・・1ヶ
 キャップボルト(半ネジ)M5×40mm・・・1ヶ
 アルミ製カラーレッドφ11×φ5.1×20mm・・・1ヶ
 アルミ製フロントパイプアウターブラケットφ34mm・・・1ヶ(別販売)
 アルミ製カラーシルバーφ15.8×φ8.1×10mm・・・1ヶ(別販売)
 フランジソケットボルト(半ネジ)M8×35・・・1ヶ(別販売)
 ステアリングダンパー本体・・・1ヶ(別販売)

□適合ダンパー

製品ID 4174 ストリート走行ステアリングダンパー本体&シリンダーランプ
 *ご使用に際して、こちらのダンパー以外にフォーク取り付けランプ部品が必要です。

□取り付け方法

	①フレームへアルミ製フレームブラケットを固定します。固定の際、図のような角度で取り付けを行います。ステアリングダンパー取り付け面を少し下げ気味にすることで、タンクとの干渉を避けられます。		⑥次にフレーム側です。タイロッドへM8ナット、M8スプリングワッシャー、M8平ワッシャーの順で取り付けます。
	②アルミ製フレームブラケットはタンクマウントステー溶接部分と約5mmほどクリアランス確保して固定してください。		⑦ハンドルを目いっぱい左へ舵を切った際にダイヤルノブと本体の間に3mmほどクリアランスが残るようにステアリングダンパーランプの位置調整を行います。 *スタンド立て掛け時(ハンドルが左へ目一杯に傾いた状態)に僅かにストローク部分に余裕がある状態で固定します。
	③アルミ製フロントパイプアウターブラケットはヘッドライトブラケットから10mmほど下げた位置へ固定します。タイロッド接続ネジ穴はハンドルロックに干渉しない位置へ取り付けます。		⑧右へハンドルを切ります。その際にダンパーが写真のような状態でフォーク部とフレーム部にタイロッドが接触しないことを確認します。ショートダンパーのため、ストロークは最小限です。そのため右へハンドルを切った状態でも余裕がある状態になるよう注意します。負荷が掛かると壊れる恐れがあります。
	④タイロッドへボルトM8×35を使いステアリングダンパーのタイロッド側を取り付けます。ボルトM8×35、タイロッド、アルミ製カラー(シルバー)の順に組み込みます。		⑨イグニッションコイルは移設が必要です。コイル本体を20mm後方へ移動させるため、M5×40mmと平ワッシャーM5、アルミ製カラー(レッド)を使用し、画像のようなイメージで取り付けます。
	⑤ステアリングダンパーランプブラケットは当社にて部品を組み込み済みです(仮止め状態です)。ステアリングダンパーのパイプ本体へ取り付けます。		⑩取り付け完成イメージ



注意事項

ステアリングダンパーは硬さ調整機構を備えています。馴らし走行中はダンパーが”最も弱”の状態で行走を開始し、慣らし運転を行いながら”強”寄りへ調整していきます。ダイヤルを時計回りに操作すると硬さが増します。ダイヤルノブはイモネジで固定しています。走行前と走行途中に緩みが発生しないことを確認してください。ダンパーにはオイル溜まりが発生しますが、ダンパーをスムーズに動かすためにオイルが付着します。異常ではありませんのでご安心ください。

ミニモト商品についてのご質問、ご意見は「お客様相談窓口」0266-75-5770 まで